

## 第8回ネイチャーキッズ特派員 「北海道キリタツプ探検隊」参加者募集のお知らせ

作文で選ばれた小学生10名を、北海道キリタツプ湿原の自然体験エコツアーに派遣

WWF(世界自然保護基金)ジャパンと株式会社カスミでは、「北海道キリタツプ探検隊」の実施にあたり、小学校4年生、5年生、6年生を対象に「大切にしたい！自然と生き物」をテーマにした作文を広く募集いたしますので、資料を添えてお知らせいたします。

当事業は今年で第8回を数え、これまでに70名の児童をネイチャーキッズ特派員として北海道キリタツプ湿原に派遣してまいりました。今年もご応募いただいた作文を選考の上、10名を北海道キリタツプ湿原の探検をする自然体験エコツアーに派遣いたします。(ご招待)

カスミでは、2000年9月からスーパーマーケットの店頭やグループ企業の各事業所に募金箱を設置して、自然保護のためのWWF募金をお客様や従業員に呼びかけております。「北海道キリタツプ探検隊」は、募金活動に加えて、次代を担う子供たちに環境教育の場を提供・支援する具体的活動として2002年より毎年実施しております。

自然体験エコツアーへの派遣はもとより、応募に添えていただく作文づくりに取り組むことで、さまざまな場面でより多くの子供たちが、自然や環境について考えることを願っております。

### <北海道キリタツプ探検隊の全体スケジュールと添付資料>

- ・ 募集要項 ⇒ [資料1](#)
- ・ キリタツプ探検隊概要 ⇒ [資料2](#)

### <参考資料>

- ・ 昨年度のキリタツプ探検隊記録写真 ⇒ [資料3](#)
- ・ WWFの活動について ⇒ [資料4](#)
- ・ 株式会社カスミ会社概要 ⇒ [資料5](#)

この資料は、筑波研究学園都市記者会及び環境省記者クラブで配布しています。

#### 当資料に関するお問合せ先

株式会社カスミ 環境社会貢献部 ・ 029-850-1824  
WWF ジャパン ・ 03-3769-1712

## 第 8 回「北海道キリタツプ探検隊」募集要項

### ■応募資格

- ① 小学校 4 年生、5 年生、6 年生に限ります。
- ② 選考のため次のテーマ・内容で作文をご提出いただきます。

### 作文テーマ「大切にしたい！自然と生き物」

森や川や海など自然の中に出かけ、また、そこに暮らす動物・昆虫・植物などとの身近な体験を通して「ワクワク、ドキドキしたこと」、「不思議に感じたこと」、自然や生き物を守るために、「こんなこと、できたらいいなあ」という意見や考えを募集します。

### ■応募方法

作文を 400 字詰め原稿用紙 2～3 枚にまとめて郵送（未発表の作品に限ります）。  
作品には表紙を付け、以下の内容を明記。

- ① 作品のタイトル
- ② 住所
- ③ 氏名（ふりがな）
- ④ 生年月日・年齢・性別
- ⑤ 学校名・学年
- ⑥ 電話番号
- ⑦ 保護者氏名（ふりがな）

### ■応募先

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋 599-1  
(株)カスミ 環境社会貢献部「ネイチャーキッズ特派員」募集係

### ■締め切り 2009年5月29日（金）※ 当日消印有効

### ■選考

自然や生き物に対する関心、体験や意見の内容、文章の表現力などを総合的に評価し、WWFジャパン・(株)カスミにより厳正に審査いたします。

選考結果の発表(6月下旬)

- \* ネイチャーキッズ賞 10名……「北海道キリタツプ探検隊」自然体験エコツアーにご招待
- \* WWF奨励賞 10名……賞状と記念品をプレゼント
- \* カスミ奨励賞 10名……賞状と記念品をプレゼント

## 「北海道キリタツプ探検隊」の概要

### ■大自然と「キリタツプ探検隊」

舞台となる北海道東部の浜中町にある霧多布(キリタツプ)湿原は、日本で3番目の大きさを誇る湿地帯で、タンチョウなどの鳥類をはじめいろいろな生物や植物が生息しています。そのため、湿地を守るため国際条約である「ラムサール条約」の登録地にもなっています。

また、湿原とその周辺には豊かな自然が広がり、人々は大自然の恩恵を受けるかたちで農業や漁業で暮らしをたてています。

当ツアーでは、「湿原の秘密を探る」をテーマとして北海道の大自然に親しみながら、湿原の成り立ち、湿原と森と海のつながりを探り、そこに成り立つ人々の暮らしを訪ねます。

これらの体験を通して、自然のしくみや地域の暮らしを理解して、子供たちが自ら環境を守る意識を持ち、行動できるようなサポートをしていきたいと考えております。

### ■キリタツプ探検隊ツアー日程

- ・ 期 日 2009年7月22日(水)～25日(土)の3泊4日
- ・ 集合・解散 羽田空港
- ・ 滞在場所 北海道厚岸郡浜中町
- ・ 費 用 無料(※ 集合前・解散後の費用は各自のご負担となります)
- ・ 主 催 WWFジャパン、株式会社カスミ
- ・ 後 援 茨城県教育委員会

### ■キリタツプ探検隊のカリキュラム(予定)

- 【7/22】羽田空港から釧路空港へ  
仲良くなろう／歓迎パーティー
- 【7/23】MTBで湿原の不思議を探検  
地引網体験／手がけ昆布体験
- 【7/24】漁師さんを訪ねてコンブ干し体験  
泥炭を洗おう／郷土料理やスライドショー
- 【7/25】「究極の湿原」を歩く  
釧路空港から羽田空港へ

※ 日程、カリキュラムは気象条件により変更になる場合がございます。

## 第7回「北海道キリタツプ探検隊」活動記録より



「湿原の秘密を探る」をテーマに、北海道の大自然に親しみながら、マウンテンバイクでの散策、手作り釣竿での魚釣り。湿原の成り立ちや役割を学び、人とのつながりを考える4日間。



WWF for a living planet®

WWF ジャパン  
(財)世界自然保護基金ジャパン

Tel: 03-3769-1711  
Fax: 03-3769-1717  
www.wwf.or.jp

〒105-0014  
東京都港区芝 3 丁目 1 番 14 号  
日本生命赤羽橋ビル 6F

## WWFの活動について (2008/10/29)

### WWFは世界最大の自然保護団体です

WWFは、1961年に設立された世界最大規模の自然保護 NGO (非政府組織) です。約500万人と約10,000社・団体のサポーター(会員・寄付者)に支えられ、スイスのグランにあるWWFインターナショナルを中心に100カ国を超える国々で活動しています。WWFインターナショナルの名誉総裁はエジンバラ公フィリップ殿下です。

### 種の保護から生態系の保全へ

WWFは絶滅のおそれのある野生生物の保護とその生息地の確保に重点を置いて活動を始め、トラ、ゾウ、ゴリラ、サイ、ジャイアントパンダなど、多くの種の保護に力を尽くしましたが、1970年代後半から、熱帯林やウェットランド(湿原、河川、湖沼、干潟など)、サンゴ礁のように、生物の多様性に富む生態系の保全に取り組むようになり、現在では、さらに活動の幅を拡大して、地球温暖化や化学物質による汚染などの環境問題への対応を含めた地球全体の生物多様性の保全に幅広く取り組んでいます。

### 持続可能な利用

WWFは世界各地でフィールドワークを進めるだけでなく、各国政府や経済界への政策的な提言、環境教育、広報活動なども活発に行なってきました。1980年には、IUCN(国際自然保護連合)、UNEP(国連環境計画)と共に『世界環境保全戦略』を策定し、自然環境の保全と生活の質的な向上とは相互に依存する関係にあり、自然環境を保全し生活を質的に向上させる「持続可能な開発」が必要であることを強く訴えました。WWFは「持続可能な開発」こそ、人類が生き延びるための唯一の手段であると考えています。

### 地球環境問題

1990年にWWFは、その使命として、生物の多様性を守り、自然資源の持続可能な利用を促し、環境汚染と資源・エネルギーの浪費を防いで、人類が自然と調和して生きられる世界の実現に向けて進むことを決めました。また1991年には、地球サミットのリオデジャネイロ開催を前にして、再びIUCN、UNEPと協力して、『新・世界環境保全戦略—かけがえのない地球を大切に』を出版し、持続可能な生活様式実現のための9つの原則と132の具体的な行動を示しました。

いまWWFは、森林・淡水域(湿原・河川・湖沼等)・海洋沿岸・絶滅のおそれのある野生生物・有害化学物質・気候変動を6つの重点課題とし、「グローバル200」(地球全体の生物多様性保全の観点から優先的に保全されるべき自然環境として選定された200余カ所の生態域)を重点地域として、より効果的な対策や、国際条約が施行されるように提言を重ねています。

### WWF日本の事業規模は世界第23位

1971年に設立されたWWFジャパン(財団法人世界自然保護基金ジャパン)は、約27,000の個人サポーターと約300の法人サポーター(2008年3月末日現在)に支えられています。2007年度の事業規模は31カ国中の第23位です。

名誉総裁は秋篠宮文仁親王殿下、会長は徳川恒孝です。

### WWFジャパンへの資金は内外で活用

#### 1. 国際的な自然保護事業

資金の一部はWWFインターナショナルに送られ、主として開発途上国の自然保護事業に配分されます。

#### 2. WWF日本の自主的な自然保護事業

石垣島白保のサンゴ礁保護研究センターにおける調査・普及教育/泡瀬干潟ややんばるの森など南西諸島の海洋及び森林の開発問題に関する政策提言/南西諸島と共に「グローバル200」に選定されている琵琶湖の流域調査・普及/FSC(森林管理協議会)による森林認証制度の推進/シギ・チドリ類の調査などに基づく沿岸・海洋保全の政策提言/持続可能な沿岸開発のモデルケース作り/MSC(海洋管理協議会)の認証取得支援/気候変動条約に関連するロビー活動並びに産業界との協力により国内のCO2排出量を削減するための政策提言・普及活動/予防原則を前提とする化学物質管理制度の確立を目指す調査・普及活動/アジアのWWFとの国際協力(黄海・インドネシア・極東ロシア)/野生生物の国際取引に関する調査・政策提言など。

#### 3. 国内の研究者や市民グループによる自然保護活動に対する助成

WWFジャパンの助成事業は、1971年の設立当初から開始され、自然保護活動への助成としては我が国で最も古いものです。2004年度からエコパートナーズ事業と名を変え、これまでの助成金の累計は約5億2099万円、対象となった活動は延べ810件に上ります。(WWF・日興グリーンインバスターズ基金は、2006年12月をもって活動を終了いたしました。)

2008年度の助成対象となった活動としては、ラムサール条約COP10に向けてのNGOシンポジウム・ワークショップの開催や気候保護法案制定に向けたNGO連携の市民立法活動など7件があります。

#### 4. 市民参加型の環境運動を志向

広く市民の間にサポーター層を作り上げることで、市民参加型の環境運動を強化して欧米水準に届くことを目指しています。また、一人でも多くの方が環境活動に参加できる機会を作り出すよう努めています。

WWF ジャパンウェブサイト (日本語のみ) <http://www.wwf.or.jp/>

## 株式会社カスミ 会社概要

カスミは、昭和36年の設立以来、北関東一円にスーパーマーケットやショッピングセンターを展開しております。

食にはその土地の風土や文化が根づいています。安全性や健康に配慮した食品であることはもとより、その土地ならではの地域の味をお届けし、地域に密着した事業活動を行っております。

また、社会活動の取り組みとして、店頭における食育活動の推進や資源回収などのリサイクル等を通して、地域への貢献にも努めております。

設 立	昭和36年6月16日
代 表 者	代表取締役社長 小濱 裕正（こはま ひろまさ）
本 社	茨城県つくば市西大橋599-1 カスミつくばセンター
資 本 金	144億28百万円
営業収益	2,019億41百万円
店 舗 数	134店（2009年4月10日現在） 茨城県 85店 千葉県 18店 埼玉県 19店 栃木県 9店 群馬県 3店
従業員数	7,776人（パート・アルバイトは7時間45分換算）
事業内容	食料品・家庭用品・衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット 事業及び専門店事業のほか、卸売事業

ホームページアドレス <http://www.kasumi.co.jp>

※ データは直近の決算数値（2008年2月末現在）

店舗数のみ2009年4月10日現在